

お母さん 美津子

母の日の中国式母乳マッサージ

母乳出すっ!

あの…マッサージと言っても、そこは…ちょっとした性感帯なので…

これ、母体健康の極意!
お願いですから普通のマッサージをして下さいっっ!!

糞も出すっ!

尿を出すっ!

卓越した乳揉みに感じる「母、美津子」の豊満な肉体

成人向

JUNKセンター亀横ビル



はい
どちら様？

チャ...

ピンポーン！

「はい、ただ今」

ガチャ...

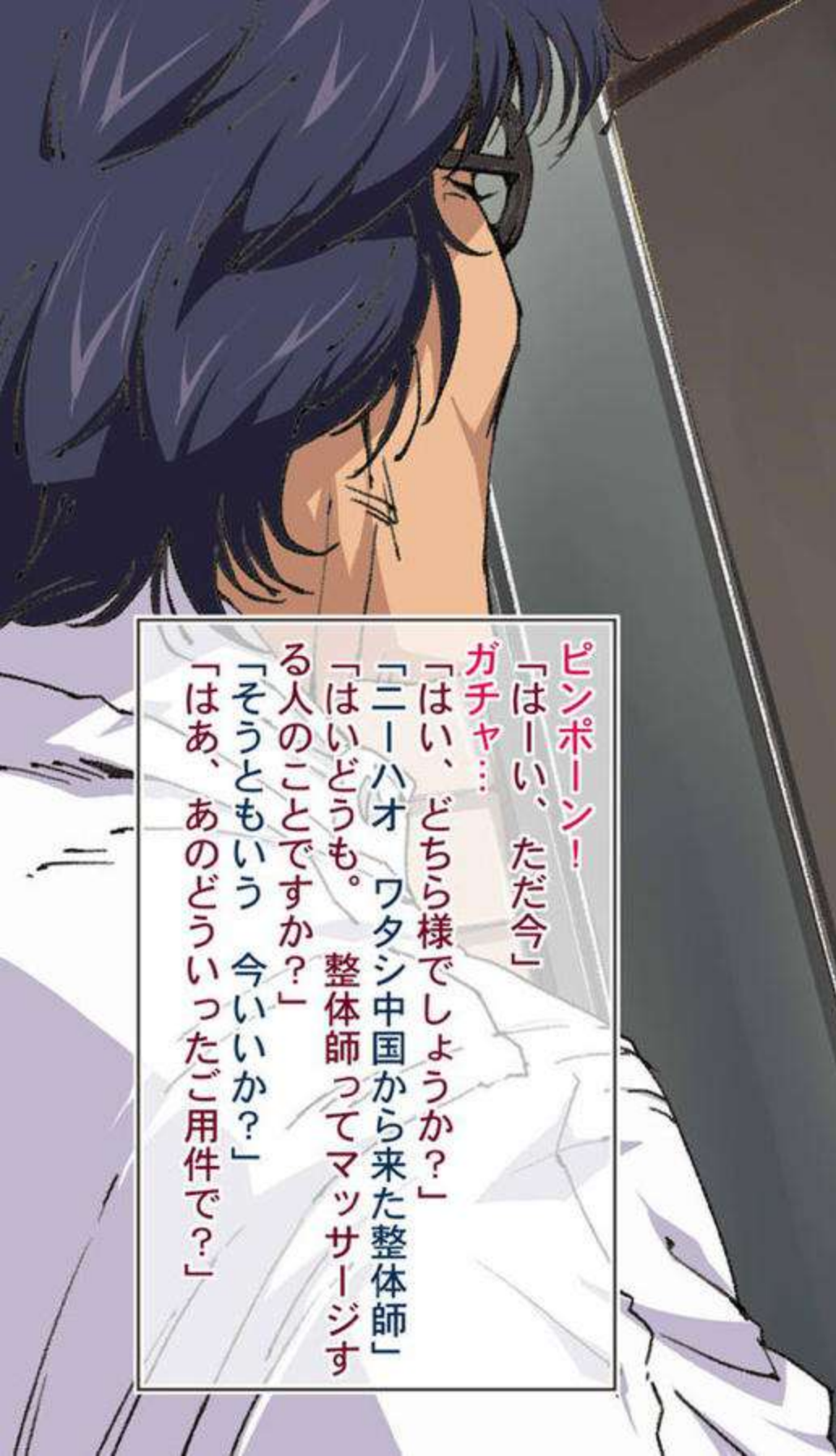
「はい、どちら様でしょうか？」

「ニーハオ ワタシ中国から来た整体師」

「はいどうも。整体師ってマッサージュする人のことですか？」

「そうともいう 今いいか？」

「はあ、あのどういったご用件で？」



「ワタシ 中国棋院から来た 棋院で専属の整体師をやっている あなたの息子さんからこれを託かっている」
「あの子から？ あーそう言えば今、何とか戦で中国に対局に行ってるけど…」
「これ読む」
「あ、はいはい すみません」



母の日のプレゼント
マッサージ券
中国棋院より

謝謝

お母さんへ
『母の日おめでとう！
俺は今、国際棋戦の最中なので日本には戻れないけど代わりに出張マッサージをプレゼントします。中国棋院では特に女性に人気のマッサージ師なんだってさ。最近肩がこるって言ってたろ。いつまでも元気でいてよ。それじゃ！』
息子より



まったく…
あの子ったら

「読んだか？どうする」
「ああ、そうねえ。せっかくだしお願いしようかしら。お金はどうすれば？」
「心配ない。すでに受け取っている。そうじゃなければ中国からわざわざ来ない」
「それもそうですね。それじゃどうぞお入り下さい」
「では…」



「あの、マッサージというのはどこでやればいいんでしょうか？」

「台所で行う」

「台所…キッチンですか？」

「そうとも言う」

「ああ、そう…ですか そういったものなんでしょうか？」

「中国式マッサージ 汗かく 新陳代謝上げる 台所 都合がいい」

ごめんなさい
今片付けますから

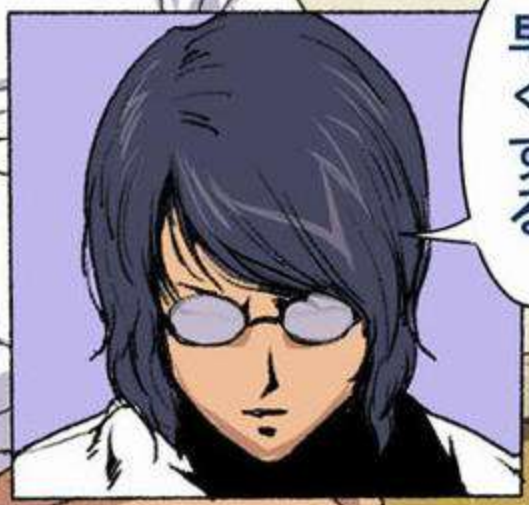
「ああ、なるほどね わかりました
すいません 突然だったもので、片付けし
てなくて…ごめんなさいね すぐに片しま
すから」

「…早くする ワタシ 暇じゃない」

「この後 中国に戻る 整体待ってる人いる 急ぐ」
「はいはい 急ぎますから (なんか威圧的 よねこの人 中国の人って皆そうなのかしら...)」

あはは…
すぐですから

早くする





「それでは始める いいか」
「あ、はい よろしくお願ひします」
「肩の力抜く 姿勢伸ばす」
「あ、はいはい…」
「…」

ペタペタ…

（何か、こうしてベタベタ触られるのって
妙に抵抗があるわね）

「あの…あたしマッサージ受けるのって初
めてで…なんか緊張しますね」

「…そうか」

え？
ちよっと…

「服 邪魔 これ脱ぐ」
「え？…えええっ？ぬ…脱ぐんですか？」
「そう…マッサージ 上着邪魔になる」
「そうなんですか？ 聞いてないけど…」
「当然 中国ではこれ当たり前」
「そ…そうなんですか…」



「な…何か恥ずかしいですね あの…えつ
と…こういう感じで肌を見せるのってお医
者さんくらいしかかないですし…」
「…そうか 姿勢良くする 力抜く」
「あ…はい、ごめんなさい」

「…手も邪魔 下げる」
「あ…でもそれだと、あのおっぱいが丸
出しになっちゃうというか、先生だってこ
んなおばさんのおっぱい見たって、嬉しく
ないですよね？」
「そういう問題ではない 早く下げる」
「は…はい… (だって恥ずかしいものは恥
ずかしいわよ)」

ペタペタペタ…

「…」

「…」

ペタペタ…

「…」

「…（この沈黙って何とかならないのかしら）」

「あの…先生？ せっかくですから何か、お話
でもしませんか？」

「肩甲骨 歪んでいる」

「はあ、そうですか…」

「…」

「…」

（そうじゃないでしょっ！）

グイッ!

「はい 腕上げる カ抜く」

「あ…はい、ごめんなさい なんかつい力が
入っちゃって」

「カ 入っていると マッサージ 効果でない」

「あ、あははは すみません…」

「動かない そのまま カ抜く」

カ抜く

す、すみません

グイッ!



ポヨン ポヨンッ!

「母 おっぱい 大きい これは肩がこる 当たり前」
「そ：そうなんですよね どうしても 年のせいもあるかもしれれないんですけど：」
「女 子供産む おっぱい膨らむ 栄養使う 母乳出る」
「ええまあ、でもあたしが子供を産んだのは もうずいぶん前ですし： 今さら母乳は出ないと思えますけど（笑）」
「：」
「（何か、間が持たないな：）」

「あの：そういえばあの子とはお知り合いなんですか？」

「：直接は知らない」

「ああ：そうなんですか」

「いいから 力抜く」

「はい：」

ポヨンッ

さわさわ、さわさわ…

（知らない人に胸を触られてるのって なんかかなり抵抗があるわね でもあの子のせっかくの好意を無駄にする訳には行かないし）

「母…力抜く 何度も言わせない」

「あ、はい ごめんなさいね、つい…」

「では 始める…」

「え？」





憤怒っ！

えっ…

ええええええっ？
ちよ…ちよっと

アッ
アッ

アッ
アッ

あ…あの

ムニユル、ムニユル、ムギユギユギユ!

「あの…これっていったいどういう…」

「中国式母乳マッサージ 息子から聞いてないか」

「ほ…母乳って…はい聞いていませんよっ! あの子からは…あ…マッサージのプレゼントとだけしか…や…」

ぐにっ!ぐにっ!ぎゅうぎゅう…

「だ…駄目っ! あひっ!そ…そんなとこ…」

むにむにっ!ぎゅっ!

「あっ…あんっ!」





だ…
駄目ですって！

あつ！そ…
そんなとこ…

ぐにゅりぐにゅり…

「やだ…も…本当に…っ…ダメ…ん…ですって、こんなことしていったい何の効果があるんですか？」

「これは中国式の特殊なマッサージ 血流
良くなる 体調良くなる」

「ほ…本当なんですか？ あたしにはただ
…む…胸を揉まれているだけ…ああつ！
ぎゅぎゅぎゅぎゅっ！

「お、お願い…そんなに強く…あんっ！」

あっ!

ちよっ!
やめ…っ!
あっ!

ぐにっ!ぐにっ!ぎゅうぎゅう…
「っ!ちよっ!もうやめてください…っ
!あっ!」
ぎゅうううっ!!!!
「あ、あ、あああ…いやっ!だ…ダメで
す…っ…あの、中国では本当にこういった
マッサージがポピュラーなんでしょうか?
」
「もちろん アスリート 芸能人 特に
女性棋士にも人気 皆やってる 成績上が
る ワタシ 中国棋院の専属整体師 とて
も人気」
ぐにぐに…ぎゅううーっ!
「あはは、あたしにはそこまでは必要ない
かなって…あっ!」

やんっ!

あッ
ッッ

きゆうううっ!!!
「…日本語 難しい わからない」
「そ、そんなっ!! や、あッ! あッ! …もうっ! つま
り乳首はいじらないでっって言っって…ひいいっ
ん!!!」

「医療の分野では特に妊婦に人気がある 少子化 とても問題」
「ああっ!!! あ…あたしはもう妊婦じゃありませんから、そ、それより…その…乳首…は…だ…駄目なんです!!! こ…ここでこんなこと言っても何ですが、ちよつとした性感帯でして、主人とも最近…ないので、あの…少し敏感になっっているというか、なんと…あッ!!!」

いや…
ちよっ…!!

…それ…
きついんですって
本当に…

「しかもあの…両方一緒に、その…される
っていうのは、あの…ああんっ!!」
「痛いかな?」
「い…痛くはないんですけど…あっ!あっ
!そうじゃなくて…」
「ここツボが集中している 刺激すると母
乳いっぱい出る」
「そ…それは無いですって…仮にそうだと
しても あたしは 肩こりが治ればいいだ
けの話なんで… ぼ…母乳とかそういうの
は…あ… あの…」
ぐにぐに…きゅううーっ!
「いや…ちよっ!やめ…っ!あっ!だから
あの…それ、きついんですって本当に…」





あっ!

ん

ん...はあっ...

あっ!

ん

ん



きゅっ!

あ、
あああつ
!!!!!!

とびゅっ!

とびゅっ!!

「母 次 横になる」
「はあ…はあっ…はい…」
△ニユルン…△ニユルン…
「母 気持ちいいか？」
「あ…はい…そう…なんですかね
ん、んう…ふ…!!」
「…ならいい」
「…」
「…(また、沈黙だわ もうやだ…)」



「…あの、先生？あの子のお知り合いなんです
よね…どうしてこういったお仕事を？」
「…身の上話 好きではない なぜ聞く？」
「いえ あの…あたし的に…何か…は…話をし
ていないと、そのっ…うっ!!あっ…!!」

「…母 お前名前なんという？」
「え、あの…美津子と言いますが…」
「そうか…」

「美津子…昔、会ったことがある」
「はあ…はあっ…??」
「ワタシ 以前は棋士だった 日本にも来たことがある
国際棋戦 ホテルの手合い… ワタシ大将」
「ニユリニユリニユリ…にゆるゆるううっん…!!!」
「うっ! あっ! そ…そう…なんですか…! っ
ん!!!」



「あるものに気をとられて 日本の大將に負けた あるものとは…」
きゆううううっ！……！
「あっ！あっ！そ……そこっ……！
駄目っ！」



はあっ…

はあ…

はっ…

「その棋戦を境に ワタシ 選抜から外され裏方の整体師に 人生 何が起きるか わからない…」
「ほ…本当ですよね あっ…あたしも今…そう思っているところなんです…(ああ…何かっこんなにも胸を触られるのって…ひ、久しぶりだから…ん…ちよっと…だ、だめっ…理性が)」





はあっ
...
ん
...

あっ!
...

あっ!
...

あっ!
...

は
...





はあっ…

はあ…

はっ…

はあっ…



はあ...

はあ...

はっ...

はあ...



あっ！

はっ...

はっ！

あっ！

グッ

グッ

グッ

グッ



いゃんっ!

びくっ びくっ

「はあっ…はあっ…ふっ…あ…あ…」

「はい 一旦ここでやめる 今度は起きて

四つん這いになる」

「え、あ…はい…そうなんですか。わかりました…(なんか、この状態でやめられるのってひどくないかしら)」

はっ…

はひ…



「はい 美津子 お尻 もっと上げる
よく見せる」

「は、はあ…この体勢って あの…すこ
く恥ずかしいんですけど」

「これから体内洗浄を始める ばい菌
身体に良くない 外に出す」

「外に出すって…どうするんですか？」

「…うがい したことがあるか？ どうや
る？」

「え…ええそれはもちろん、口の中にう
がい液入れてガラガラって…洗ってから
吐き出しますけど…」

「それと同じ それ下半身でやる」

「はあ… はあああ!!？」



「説明 いるか？」

「いえ、何となく想像はつきますけど、その必要はないと…んあっ！あっ！」

ぬちゅぬちゅ…！！

「あ、あ、あ、そこも…駄目…です…お、お尻なんて…」

ぬ…くりくり……つぷっ！

「あっ！あんっ！…あんっ！…ひい…いいっ…！！」

「ここ 隠れたGスポット 女性 皆喜ぶ サービス」

く…く…いっ…

「ひいっ…！？…あ…っあ…？…あ、あああああ…！？…？？」

あ…

あ

んっ

んっ



「今から消毒液 注入する 美津子
しばらく 我慢する」
「え、でも…ちよつと待って本当に
やるんですか？肩こりにそんな必要
は…んぐうう…！！」
ぐりぐり…
「は…は、ふあ…あ、ああ…はああ
…あつ！」
「美津子…お尻 痛いかな？」
「い…痛いです」
「…そうか」
チュウウウウウウ…ドクン、ドク
ン…
「き…聞くだけですか…？あ、ああ
あつ…お」
「聞いただけ しばらくじっとして
いる 我慢」
「…い…嫌です…無理…」
ドクン、ドクン、ドクン…
「もつ、もう入れないでえええええ
！！！！！」



「液 十分入ったか？」
「も…もうお腹いっぱいだと思います…ひ
や…ひやべると…ひいいっ！」
「美津子 お尻もっと突き出す しっかり
見せる」
「こ…この状態って この上なく屈辱的な
んですけど…」
「確認する 穴見せる お前の肛門をしっ
かり広げて見せる」
「あ…だ…駄目ですっ！ 漏れちゃいます
よ…あ、あ、あああ…」
「…大丈夫 入っている」
「…だから、そうだって…っひんっ！！」

あ…
あぁっ！

グイッ





コリコリ…くにゅにゅにゅ…

「あの…い…今…何やってるんですか?…」

「細かい汚れを取っている 女性の陰部 形 複雑」

「そ…その道具はいったい何なんですか?!」

「コツヘル…が無かったので、さっき100円ショップで似たようなものを購入してきた…日本では何と言う?」

「…た…多分、耳搔きだと思っていますう…むう…うう…」

「そうか 便利」

「っふ…み…耳かきは…耳を…か…搔くものだと…う…思います…」

あ、あ、あああ…
お、おおお願…
もう…
くりくりしないで…



クリクリクリ…ちゅちゅっ！
「美津子 お前の陰部 比較的綺麗な方だとは思うが もう少し陰毛の手入れをした方が良い 中国の女性皆 気を使っている」
「お…大きなお世話だと…思いますよ…あ…あたしは中国の女性じゃありませんから…あ…や…うそっ…！！！！」
ぐるる…ぎゅっ…ぎゅるる…



くっ！
くうううう







モミンツッ!モミンツッ!モミンツッ!ム
ニユムニユニユー……

「ギューってやるの… ギューってやるの…」
「んああっ!…!はああああっつっ
!…!ひいいっ!はひいいいいっ
!…!…!…!…」

ぐるるるる…ぎゆるっ…ぎゆるる…

「ふんぬっ!ふんぬっ!」

「あ、あ、あああ…お、 おおおお

願いです…と、トイレっ!…トイレ

に行かせて…っ…下さ…うううっ!

!!!」

「駄目 行ってはいけない」



「碁盤は人体を模して作られたもの 星はツボにあたる」
「な…何のことでしょうか？…あ、ああ…寄せないで…」
「こうして 下から 星に 気を上げる 母乳が出る」
「そ…そんな訳…や、やあ、あ、あああああ ああ…!!!」
「集中 はっ！」
「っひんっ！…や、いやああっ…!!!」
「ぼ…母乳ううううっ！」
「え…えええええっ？」

う…

あっ…

あっ…





ムギユツ！ギューーーーー！！

「あつ！あんつ！ちよ…あああ…
あううう…な…なんでえ…うう…こん
な…嘘でしょ？」

「嘘ではない これが 中国式 母乳
マッサージ…はあああつ！」

ポタポタ…ポタポタ…

「っん！…！ぼ、母乳…また出ちゃ…
っ！は…はう…はうんつ！…！…あ
っ…！！」

「んぬおおおおおつ！」

うああっ…
あ…

ち…

あつ！

あつ！

ポタ

ポタ

ポヨヨンッ!

「ふんぬっ!」

「あっ! あっ! いやんっ! ほ…本
当に、ぼ、母乳があっっ!」

びゅーっ! びゅびゅびゅっ!
! ! ! ! !

「もう一度 ふんぬっ!」

「あっあ、あっ! また…っ! でちやうう
う! ! ! ! ! いっぱいい…ああ嘘おっっ!
! ! ! ! !」

ひああっ!

あっ!







はっ

「揉むっ！ 揉むっ！ 揉むっ！
揉むっ！」
「あっあ、あっ！出る…っ！でち
やううう！！！！いっばいいい…ああ
出ちやうううっっ！！！！！！！！！！
「母 美津子 母乳出す いっば
い出すっ！」
ビューー…ツツ…！！！！ビューツ！！
…！！ビュービュー…



モミンツッ！モミンツッ！モミムニユルンツッ！！
「か、かんにんしてえ……！！ぼ、母乳……出ちゃ
うう……！！全部……おっぱいからっ……！！ああああ
ああああっっっ……！！！！！！！！」

あふうっ!!
お母さんの
おっぱいから
っ……!

母乳がっ!

ああああ
あああっつ
っ……!!

母乳があっ!





モミンッ！モミンッ！モミンッ！
びゅーーーっ！びゅびゅびゅっ

「どうだっ！ 母っ！ 美津子っ！ ど
うだっ！」

「あっ！あっ！はああああっ！！出
るっ！！出るっ！！止まないっ！！
出る出るううっ！！でちやうのおお
おっっ！！！！！」

「もつと出すっ！ 美津子っ！ 母乳を
もつと出すっ！」

「あっ！ああああ！！こ、こんな歳
なのにつ……！？あああっ！！どうし
てっ……！ほほほ母乳がああっ！！と
まんなああいいいい！！！！！」

あっ！

あっ！

ジュッ
ジュッ
ジュッ

ジュッ
ジュッ
ジュッ

ジュッ
ジュッ
ジュッ



あ

グツグツ

グツグツ

「次 美津子 尿を出す」

「そんなこと言われましても この体勢では、いくらなんでも恥ずかしくて…あの…本当におトイレに行かせていただけないでしょうか？」

「そういう訳にはいかない マッサージの後の尿 健康に良い トイレに流すもつたない」

「でも…ここってキッチンですよ
ねっ!! あ…あ…あっ!! (でちゃううう!）」

ジヨ…





あっあ、
あっあ、
あっ！

駄目っ！出る…っ！
でちゃううう…！！

見ないで
ええっ！



あ

うあ

あつ！あううう…
酷い…あう…
あ…あ…
止まらな…
ああ…！

あ……

はあうう……

はあああ……
ああ……

もう……
ゆみこ……

はあ……

「っひいつ！はあつ……はあ……はあ……はあ……
 ……（だ……出しちゃった。人前でこんなにおしっこしたのなんて、赤ちゃんの時以来よね……）」

「どうだ 美津子 お漏らしは終わったか？」

「お……お漏らしって、あなた……」





グツチユグツチユ

「美津子 次 糞 出す」

「あ…ふ…ふあ…や、やめ…やめてえ…もう…もうイヤですうう…」

「駄目 中国式マツサージ 中押し投了を許さない」

ぐりぐりぐり…!!!

「お…お尻の穴は本当にいやああ…!!!
ぐりぐりしないでええっ!!!で、でっ…で
ちやううっ!!!」



グツチューグツチュー！
「はあううう……！！あううう……！！」
ぐりぐりぐり……！！
「ひやううつ……ああ……っ……やっ……
！やうう……！！」
グチュリ……！！ぐりぐりぐり……！！
「っああああああああ……！！」



あっ！

あがつ…



「我慢しなくていい 美津子 体内の汚物出す 全部出す」

「い… (嫌です…)」
クンクン…

「美津子 糞 歳の割に匂い少ない
いこと」

「あ…あのねえ…ば…馬鹿なこと、おっ
しやい…それ…最悪のデリカシー…ああ
ああ…あっ！」
ムリ…

ひっ…
ひぎいっ



あっ！

だっ、
だめっ！

で、
おちや……

あ……





はあはあ……

はあっ……

はあ……

はあ……

はあはあ……はあはあ……

(もう駄目……何が起きたのか
しらいたい……)

はあ…

あ…あの…
先生…次は…

はあ…

「あ…あうう…は、はあ…もう…
はああ…ああ…」
「母 気持ち良かったか？」
「は…はあ、(多分…これって快
楽って言うのかしら…)」
「それならいい」
(体中の毒素が抜けたのかしら…
放心状態でよくわからないけど…
何か…癖になっちゃいそうだな…)

ではワタシ
中国帰る

これ
受け取りの半券
お疲れ

謝謝

え……？

ど、ど、ど、
ことなの？





再見

先生！

「あ…あの、先生？帰っちゃうんですか？この状態で？」
「ワタシ 仕事終わり 忙しい 急ぐ お疲れさま」
「ちよ…ちよっと待って下さい この状態で置き去りって何かひどくないですか？あんまりじゃないですか？」

ガチャ…

もうっ!
せめて玄関くらい
閉めていって
下さいっ!

終劇

お母さん 美津子

母の日の中国式母乳マッサージ

母乳出すっ!

あの…マッサージと言っても、そこは…ちょっとした性感帯なので…

これ、母体健康の極意!
お願いですから普通のマッサージをして下さいっっ!!

糞も出すっ!

尿を出すっ!

成人向

卓越した乳揉みに感じる「母、美津子」の豊満な肉体

JUNKセンター亀横ビル



はい
どちら様？

チャ...

ピンポーン！

「はい、ただ今」

ガチャ...

「はい、どちら様でしょうか？」

「ニーハオ ワタシ中国から来た整体師」

「はいどうも。整体師ってマッサージする人のことですか？」

「そうともいう 今いいか？」

「はあ、あのどういったご用件で？」

「ワタシ 中国棋院から来た 棋院で専属の整体師をやっている あなたの息子さんからこれを託かっている」
「あの子から？ あーそう言えば今、何とか戦で中国に対局に行ってるけど…」
「これ読む」
「あ、はいはい すみません」



母の日のプレゼント
マッサージ券
中国棋院より

謝謝

お母さんへ
『母の日おめでとう！
俺は今、国際棋戦の最中なので日本には戻れないけど代わりに出張マッサージをプレゼントします。中国棋院では特に女性に人気のマッサージ師なんだってさ。最近肩がこるって言ってたろ。いつまでも元気でいてよ。それじゃ！』
息子より

まったく…
あの子ったら
キ

「読んだか？どうする」
「ああ、そうねえ。せっかくだしお願いしようかしら。お金はどうすれば？」
「心配ない。すでに受け取っている。そうじゃなければ中国からわざわざ来ない」
「それもそうですね。それじゃどうぞお入り下さい」
「では…」



「あの、マッサージというのはどこでやればいいんでしょうか？」

「台所で行う」

「台所…キッチンですか？」

「そうとも言う」

「ああ、そう…ですか そういったものなんでしょうか？」

「中国式マッサージ 汗かく 新陳代謝上げる 台所 都合がいい」

ごめんなさい
今片付けますから

「ああ、なるほどね わかりました
すいません 突然だったもので、片付けし
てなくて…ごめんなさいね すぐに片しま
すから」

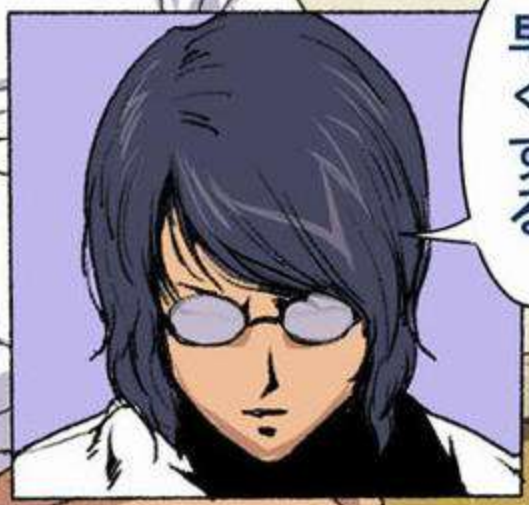
「…早くする ワタシ 暇じゃない」



「この後 中国に戻る 整体待ってる人いる 急ぐ」
「はいはい 急ぎますから (なんか威圧的 よねこの人 中国の人って皆そうなのかしら...)」

あはは…
すぐですから

早くする





「それでは始める いいか」
「あ、はい よろしくお願ひします」
「肩の力抜く 姿勢伸ばす」
「あ、はいはい…」
「…」

ペタペタ…

（何か、こうしてベタベタ触られるのって
妙に抵抗があるわね）

「あの…あたしマッサージ受けるのって初
めてで…なんか緊張しますね」
「…そうか」

え？
ちよっと…

「服 邪魔 これ脱ぐ」
「え？…えええっ？ぬ…脱ぐんですか？」
「そう…マッサージ 上着邪魔になる」
「そうなんですか？ 聞いてないけど…」
「当然 中国ではこれ当たり前」
「そ…そうなんですか…」



「な…何か恥ずかしいですね あの…えつ
と…こういう感じで肌を見せるのってお医
者さんくらいしかありませんし…」
「…そうか 姿勢良くする 力抜く」
「あ…はい、ごめんなさい」

「…手も邪魔 下げる」
「あ…でもそれだと、あのおっぱいが丸
出しになっちゃうというか、先生だってこ
んなおばさんのおっぱい見たって、嬉しく
ないですよね？」
「そういう問題ではない 早く下げる」
「は…はい… (だって恥ずかしいものは恥
ずかしいわよ)」

ペタペタペタ…

「…」

「…」

ペタペタ…

「…」

「…（この沈黙って何とかならないのかしら）」

「あの…先生？ せっかくですから何か、お話
でもしませんか？」

「肩甲骨 歪んでいる」

「はあ、そうですか…」

「…」

「…」

（そうじゃないでしょっ！）

グイッ!

「はい 腕上げる カ抜く」

「あ…はい、ごめんなさい なんかつい力が
入っちゃって」

「カ 入っていると マッサージ 効果でない」

「あ、あははは すみません…」

「動かない そのまま カ抜く」

カ抜く

す、すみません

グイッ!



ポヨン ポヨンッ!

「母 おっぱい 大きい これは肩がこる 当たり前」
「そ：そうなんですよね どうしても 年のせいもあるかもしれないんですけど：」
「女 子供産む おっぱい膨らむ 栄養使う 母乳出る」
「ええまあ、でもあたしが子供を産んだのは もうずいぶん前ですし： 今さら母乳は出ないと思えますけど（笑）」
「：」
「（何か、間が持たないな：）」

「あの：そういえばあの子とはお知り合いなんですか？」
「：直接は知らない」
「ああ：そうなんですか」
「いいから 力抜く」
「はい：」
「：」

ポヨンッ

さわさわ、さわさわ…

（知らない人に胸を触られてるのって なんかかなり抵抗があるわね でもあの子のせっかくの好意を無駄にする訳には行かないし）

「母…力抜く 何度も言わせない」

「あ、はい ごめんなさいね、つい…」

「では 始める…」

「え？」





憤怒っ!

えっ…

ええええええっ?
ちよ…ちよっと

アッ
アッ

アッ
アッ

あ…あの

ムニユル、ムニユル、ムギユギユギユ！

「あの…これっていったいどういう…」

「中国式母乳マッサージ 息子から聞いてないか」

「ほ…母乳って…はい聞いていませんよっ！あの子からは…あ…マッサージのプレゼントとだけしか…や…」

ぐにっ！ぐにっ！ぎゅうぎゅう…

「だ…駄目っ！ あひっ！そ…そんなとこ…」

むにむにっ！ぎゅっ！

「あっ…あんっ！」





だ…
駄目ですって！

あつ！そ…
そんなとこ…

ぐにゅりぐにゅり…

「やだ…も…本当に…っ…ダメ…ん…ですって、こんなことしていったい何の効果があるんですか？」

「これは中国式の特殊なマッサージ 血流
良くなる 体調良くなる」

「ほ…本当なんですか？ あたしにはただ
…む…胸を揉まれているだけ…ああつ！
ぎゅぎゅぎゅぎゅっ！

「お、お願い…そんなに強く…あんっ！」

あっ!

ちよっ!
やめ…っ!
あっ!

ぐにっ!ぐにっ!ぎゅうぎゅう…
「っ!ちよっ!もうやめてください…っ
!あっ!」
ぎゅうううっ!!!!
「あ、あ、あああ…いやっ!だ…ダメで
す…っ…あの、中国では本当にこういった
マッサージがポピュラーなんでしょうか?
」
「もちろん アスリート 芸能人 特に
女性棋士にも人気 皆やってる 成績上が
る ワタシ 中国棋院の専属整体師 とて
も人気」
ぐにぐに…ぎゅううーっ!
「あはは、あたしにはそこまでは必要ない
かなって…あっ!」

やんっ!

おっ
ッ

「…日本語 難しい わからない」
「そ、そんなっ!! や、あっ! あっ! …もうっ! つま
り乳首はいじらないでって言って…ひいいっ
ん!!!」

きゅうううっ!!! くにくにくにくにく!!!

「医療の分野では特に妊婦に人気がある 少子化 とっても問題」
「ああっ!!! あ…あたしはもう妊婦じゃありませんから、そ、それより…その…乳首…は…だ…駄目なんです!!! こ…ここでこんなこと言っても何ですが、ちよつとした性感帯でして、主人とも最近…ないので、あの…少し敏感になっっているというか、なんと…あっ!!!」

いや…
ちよっ…!!

…それ…
きついんですって
本当に…

「しかもあの…両方一緒に、その…される
っていうのは、あの…ああんっ!!」
「痛いかな?」
「い…痛くはないんですけど…あっ!あっ
!そうじゃなくて…」
「ここツボが集中している 刺激すると母
乳いっぱい出る」
「そ…それは無いですって…仮にそうだと
しても あたしは 肩こりが治ればいいだ
けの話なんで… ぼ…母乳とかそういうの
は…あ… あの…」
ぐにぐに…きゅううーっ!
「いや…ちよっ!やめ…っ!あっ!だから
あの…それ、きついんですって本当に…」





あっ!

ん...は...はあっ...

あっ!

ん...は...はあっ...

ん...は...はあっ...

ん...は...はあっ...



きやつ!

あ、
あああつ
!!!

おっ!!
おっ!!

おっ!!
おっ!!

「母 次 横になる」
「はあ…はあっ…はい…」
△ニユルン…△ニユルン…
「母 気持ちいいか？」
「あ…はい…そう…なんですかね
ん、んう…ふ…!!」
「…ならいい」
「…」
「…(また、沈黙だわ もうやだ…)」



「…あの、先生？あの子のお知り合いなんです
よね…どうしてこういったお仕事を？」
「…身の上話 好きではない なぜ聞く？」
「いえ あの…あたし的に…何か…は…話をし
ていないと、そのっ…うっ!!あっ…!!」

「…母 お前名前なんという?」
「え、あの…美津子と言いますが…」
「そうか…」

「美津子…昔、会ったことがある」
「はあ…はあっ…??」
「ワタシ 以前は棋士だった 日本にも来たことがある
国際棋戦 ホテルの手合い… ワタシ大将」
「ニユリニユリニユリ…にゆるゆるううっん…!!!」
「うっ! あっ! そ…そう…なんですか…! っ
ん…!!!」



「あるものに気をとられて 日本の大將に負けた あるものとは…」
きゆううううっ！……！
「あっ！あっ！そ……そこっ……！……！
駄目っ！」



はあっ…

はあ…

はっ…

「その棋戦を境に ワタシ 選抜から外され裏方の整体師に 人生 何が起きるか わからない…」
「ほ…本当ですよね あっ…あたしも今…そう思っているところなんです…(ああ…何かっこんなにも胸を触られるのって…ひ、久しぶりだから…ん…ちよっと…だ、だめっ…理性が)」





はあっ...
はあっ...
はあっ...

あっ!

あっ!

あっ!

は...





はあっ…

はあ…

はっ…

はあっ…



はあ...

はあ...

はっ...

はあ...



グニッ

グニッ

グニッ

グニッ

あっ!

はっ...

はっ!

あっ!



いやっ!!

びくっ びくっ

「はあっ…はあっ…ふっ…あ…あ…」

「はい 一旦ここでやめる 今度は起きて

四つん這いになる」

「え、あ…はい…そうなんですか。わかりました…(なんか、この状態でやめられるのってひどくないかしら)」

はっ…

はひ…



「はい 美津子 お尻 もっと上げる
よく見せる」
「は、はあ…この体勢って あの…すこ
く恥ずかしいんですけど」
「これから体内洗浄を始める ばい菌
身体に良くない 外に出す」
「外に出すって…どうするんですか？」
「…うがい したことがあるか？ どうや
る？」
「え…ええそれはもちろん、口の中にう
がい液入れてガラガラって…洗ってから
吐き出しますけど…」
「それと同じ それ下半身でやる」
「はあ…、 はあああ!!？」



「説明 いるか？」

「いえ、何となく想像はつきますけど、その必要はないと…んあっ！あっ！」

ぬちゅぬちゅ…！！

「あ、あ、あ、そこも…駄目…です…お、お尻なんて…」

ぬ…くりくり……つぷっ！

「あっ！あんっ！…あんっ！…ひい…いいっ…！！」

「ここ 隠れたGスポット 女性 皆喜ぶ サービス」

く…く…いっ…

「ひいっ…！！…あ…っ…あ…？…あ、あああああ…！！…？？」

あ…

あ

んっ

んっ



「今から消毒液 注入する 美津子
しばらく 我慢する」
「え、でも…ちよつと待って本当に
やるんですか？肩こりにそんな必要
は…んぐうう…！！」
ぐりぐり…
「は…は、ふあ…あ、ああ…はああ
…あっ！」
「美津子…お尻 痛いかな？」
「い…痛いです」
「…そうか」
チュウウウウウウ…ドクン、ドク
ン…
「き…聞くだけですか…？あ、ああ
あっ…お」
「聞いただけ しばらくじっとして
いる 我慢」
「…い…嫌です…無理…」
ドクン、ドクン、ドクン…
「もっ、もう入れないでえええええ
！！！！！」



グイッ

あ…
あぁっ！

「液 十分入ったか？」
「も…もうお腹いっぱいだと思います…ひ
や…ひやべると…ひいいっ！」
「美津子 お尻もっと突き出す しっかり
見せる」
「こ…この状態って この上なく屈辱的な
んですけど…」
「確認する 穴見せる お前の肛門をしつ
かり広げて見せる」
「あ…だ…駄目ですっ！ 漏れちゃいます
よ…あ、あ、あああ…」
「…大丈夫 入っている」
「…だから、そうだって…っひんっ！！」





コリコリ…くにゅにゅにゅ…

「あの…い…今…何やってるんですか?…」

「細かい汚れを取っている 女性の陰部 形 複雑」

「そ…その道具はいったい何なんですか?!」

「コツヘル…が無かったので、さっき100円ショップで似たようなものを購入してきた…日本では何と言う?」

「…た…多分、耳搔きだと思っていますう…むう…うう…」

「そうか 便利」

「っふ…み…耳かきは…耳を…か…搔くものだと…う…思います…」

あ、あ、あああ…
お、おおお願い…
もう…
くりくりしないで…



クリクリクリ…ちゅちゅっ！
「美津子 お前の陰部 比較的綺麗な方だとは思うが もう少し陰毛の手入れをした方が良い 中国の女性皆 気を使っている」
「お…大きなお世話だと…思いますよ…あ…あたしは中国の女性じゃありませんから…あ…や…うそっ…！！！！」
ぐるる…ぎゅっ…ぎゅるる…



くっ！
くうううう







モミンツッ!モミンツッ!モミンツッ!ム
ニユムニユニユ...

「ギューってやるの... ギューって
やるの...」
「んああっ!!!はああああっつっ
!!!!ひいいっ!はひいいいいっ
!!!!!!」

ぐるるるる...ぎゆるっ...ぎゆるる...

「ふんぬっ!ふんぬっ!」

「あ、あ、あああ...お、 おおおお

願いです...と、トイレっ!...トイレ

に行かせて...っ...下さ...うううっ!

!!!」

「駄目 行ってはいけない」



「碁盤は人体を模して作られたもの 星はツボにあたる」
「な…何のことでしょうか？…あ、ああ…寄せないで…」
「こうして 下から 星に 気を上げる 母乳が出る」
「そ…そんな訳…や、やあ、あ、あああああ ああ…!!!」
「集中 はっ！」
「っひんっ！…や、いやああっ…!!!」
「ぼ…母乳ううううっ！」
「え…えええええっ？」

う…

あっ…

あっ…



ポヨヨンッ!

「ふんぬっ!」

「あっ! あっ! いやんっ! ほ…本
に、ぼ、母乳があっっ!」

びゅーっ! ……びゅびゅびゅっ!
! ! ! ! !

「もう一度 ふんぬっ!」

「あっあ、あっ! また…っ! でちゃうう
! ! ! ! いっぱいい…ああ嘘おっっ! ! ! !

! ! !

ひああっ!

あっ!







はっ

「揉むっ！ 揉むっ！ 揉むっ！
揉むっ！」
「あっあ、あっ！出る…っ！でち
やううう！！！！いっばいいい…ああ
出ちやうううっっ！！！！！！！！！！
「母 美津子 母乳出す いっば
い出すっ！」
ビューー…ツツ…！！！！ビューッ！！
…！！ビュービュー…



モミンツッ！モミンツッ！モミムニユルンツッ！！
「か、かんにんしてえ……！！ぼ、母乳……出ちゃ
うう……！！全部……おっぱいからっ……！！あああ
あああ……！！」

あふうっ!!
お母さんの
おっぱいから
っ……!

母乳がっ!

ああああ
あああっつ
っ……!!

母乳があっ!





モミンッ！モミンッ！モミンッ！
びゅーーーっ！びゅびゅびゅっ
！！！！

「どうだっ！ 母っ！ 美津子っ！ ど
うだっ！」

「あっ！あっ！はああああっ！！出
るっ！！出るっ！！止まないっ！！！
出る出るううっ！！でちやうのおお
おっっ！！！！！！」

「もつと出すっ！ 美津子っ！ 母乳を
もつと出すっ！」

「あっ！ああああ！！こ、こんな歳
なのにつ……！！？あああっ！！どうし
てっ……！！ほほほ母乳がああっ！！と
まんなああいいいい！！！！！！」

あっ！

あっ！

ジュッ
ジュッ
ジュッ

ジュッ
ジュッ
ジュッ

ジュッ
ジュッ
ジュッ



あ

グツグツ

グツグツ

「次 美津子 尿を出す」

「そんなこと言われましても この体勢では、いくらなんでも恥ずかしくて…あの…本当におトイレに行かせていただけないでしょうか？」

「そういう訳にはいかない マッサージの後の尿 健康に良い トイレに流すもつたえない」

「でも…でも…ここってキッチンですよねっ!! あ…あ…あ…あっ!! (でちゃううう!）」

ジヨ…





あっあ、
あっあ、
あっ！

駄目っ！出る…っ！
でちゃううう…！！

見ないで
ええっ！



あ

あ

あっ! あううう...
酷い... あうう...
あ... ああ...
止まらな...
ああ...
ああ...!

あ……

はあうう……

はあああ……
ああ……

もう……
ゆみ……

はあ……

「っひいつ！はあつ……はあ……はあ……はあ……
 ……（だ……出しちゃった。人前でこんなにおしっこしたのなんて、赤ちゃんの時以来よね……）」

「どうだ 美津子 お漏らしは終わったか？」

「お……お漏らしって、あなた……」





グツチユグツチユ

「美津子 次 糞 出す」

「あ…ふ…ふあ…や、やめ…やめてえ…もう…もうイヤですうう…」

「駄目 中国式マツサージ 中押し投了を許さない」

ぐりぐりぐり…!!!

「お…お尻の穴は本当にいやああ…!!!
ぐりぐりしないでええっ!!!で、でっ…で
ちやううっ!!!」



グツチューグツチュー！
「はあううう……！！あううう……！！」
ぐりぐりぐり……！！
「ひやううつ……ああ……っ……やっ……
！やうう……！！」
グチュリ……！！ぐりぐりぐり……！！
「っああああああああ……！！」



あっ！

あがつ…



「我慢しなくていい 美津子 体内の汚物出す 全部出す」

「い… (嫌です…)」
クンクン…

「美津子 糞 歳の割に匂い少ない
いこと」

「あ…あのねえ…ば…馬鹿なこと、おっ
しやい…それ…最悪のデリカシー…ああ
ああ…あっ！」
ムリ…

ひっ…
ひぎいっ



あっ！

だっ、
だめっ！

で、
おちや……

あ……





はあはあ……

はあっ……

はあ……

はあ……

はあはあ……はあはあ……

(もう駄目……何が起きたのか
しらいたい……)

はあ…

あ…あの…
先生…次は…

はあ…

「あ…あうう…は、はあ…もう…
はあああ…ああ…」
「母 気持ち良かったか？」
「は…はあ、(多分…これって快
楽って言うのかしら…)」
「それならいい」
(体中の毒素が抜けたのかしら…
放心状態でよくわからないけど…
何か…癖になっちゃいそうだな…)

ではワタシ
中国帰る

これ
受け取りの半券
お疲れ

謝謝

え……？

ど、ど、ど、
ことなの？





再見

先生！

「あ…あの、先生？帰っちゃうんですか？ この状態で？」
「ワタシ 仕事終わり 忙しい 急ぐ お疲れさま」
「ちよ…ちよっと待って下さい この状態で置き去りって何かひどくないですか？あんまりじゃないですか？」

ガチャ…

もうっ!
せめて玄関くらい
閉めていって
下さいっ!

終劇



















お母さん 美津子

母の日の中国式母乳マッサージ



成人向

JUNKセンター亀横ビル





母の日のプレゼント
マッサージ券
中国棋院より

謝謝











































































































































謝謝





















